

みちしるべ

みずからのために道しるべを置きみずからのために標柱をたてよ (エレミヤ31:21)

人になれ 奉仕せよ

聖句：わたしは良い羊飼いである。良い羊飼いは羊のために命を捨てる。(ヨハネによる福音書 10:11)

保育目標： 0歳児	・自分でやってみようとし、できたことを喜ぶ。冬の遊びを楽しむ
1歳児	・神さまに愛され、守られていることを知る。友だちと一緒に遊びを共有する。
2歳児	・神さまに愛され、守られていることを知る。自分の思いや遊びが尊重され満足感を感じる。
3歳児	・新しいことに興味を持ち、繰り返し遊ぶ。お正月遊びを楽しむ。
4歳児	・遊びの中で楽しさを見つけ、繰り返しじっくりと取り組んで満足感を得る。
5歳児	・友だちと時間をかけて思いを実現していく過程を楽しむ。自然を感じながら屋外で遊ぶ。

皆様、あけましておめでとうございます。

冬の寒さが毎年厳しくなっているように感じます。体感している寒さもありますが、予想を上回る量の雪が、あっという間に降り積もってしまう様子をニュースで見聞きすることが多くなったからでしょうか。ライフラインの被害だけでなく、農作物の被害またケガをされたりご家族を失った方もおられる事を思うと日常を取り戻したり、気持ちを立て直すのには本当に沢山の時間が必要なことと思います。一人ひとりが神様によって慰められますようにと心に留めてお祈りしたいと思います。

こども園では、この冬も寒さに負けず外遊びを楽しむ声が響いています。『友だちと一緒に遊ぶ』という楽しさに出会っているつばめ組の子どもたち。でも、始まり方は様々、また『一緒』の感じ方もそれぞれです。

最近ストライダーが楽しいAちゃん。どうしても乗りたかったピンクストライダーをやっと見つけてニコニコしながらドライブをしていると、サツマイモがあった畑でBちゃん、Cちゃんが、保育者と一緒におうちごっこをして遊んでいました。Aちゃんは、畑の前に立ち止まり、少し難しい表情をして黙って見えています。

私がAちゃんの後ろから「こんにちは～」と声を掛けると、畑にいた2人が、「これ、たべますか？おいしいですよ」「これ、さわってごらん。」と通りすがりの私たちを歓迎して声をかけてくれました。するとAちゃんは「これ、もうのらない」とだけ言ってストライダーを降り、話していた私の膝の上にすわりました。「一緒に作る？」と聞くと「うん」と答えるのですがじっと見えています。すごく興味はあるようですが自分から入っていきたくはないAちゃん。しばらくして、私がつけて来た砂場道具を見るとニコニコになったので私はあえて畑の近くにテーブルを持ってきて、そこでAちゃんと一緒にお料理を始めました。するとまもなく、BちゃんとCちゃんが自分のお料理を持って、「ご近所」に遊びに来ました。そして、私に「これごはんです。」「このスプーンでどうぞ」など、あれやこれやおもてなしが始まりました。Aちゃんは「これ、りんご」とだけ私に伝えて、黙々とお料理を続けています。

ところが「これ、やさいで～す」と届けてくれたBちゃんに「ありがとう」と返事をする私を見て「…じゃあ、ジュース買ってくる！」と走り出したCちゃん。お料理を続けているAちゃんに私が「野菜入れる？」と聞くと「うん！」とAちゃん。私が「Bちゃんが持ってきたくれたよ」と伝えると急に表情が変わりニコニコして「これねえ、ごはん作ってるの～」と話し始めました。

それからはCちゃんが持ってきたジュース(水)を、Aちゃんがお料理に使ったり、Aちゃんが「水とってくるね」と新しい水を入れてきてくれたりしました。ひとつのお鍋(バケツ)の中に水を足したり、葉っぱを入れたり、またそこから泥水をすくって、友だちのお皿に入れてあげたり…と3人の遊びがつながり始めました。そして、どろんこお料理に夢中になった3人は最後に冷蔵庫(棚)にしまおうかと言って、一緒にお部屋に入りお昼ご飯になりました。

『一緒に遊ぶ』楽しさに気付いているつばめ組の子どもたち。ただ、一人ひとりが自分のタイミングで色々なアプローチの仕方でお互いを知りながら、『一緒』の楽しさを味わえるようになっていくのだと思います。ほんの小さなきっかけでAちゃんの心が開いたように、子どもたちの一步一步を大切に、これからもゆっくりと支えていきたいと思っています。

乳児クラス主任 星野 陽子